

知っておきたい

暮らしてお金のいろは

第10回

Q 子供の教育資金について両親や人生の先輩に相談をすると、「子供の成長にはお金がかかるー!」といわれます。どのように教育資金を準備していけば良いのか分かりません。また、資金不足の場合はどうすれば良いのでしょうか? (30代 女性)

A お子さまに十分な教育を受けさせるにはお金がかかります。教育資金準備で最も大切なことは「早い時期からの積立」です。資金不足の場合は奨学金制度などを活用することも有効です。

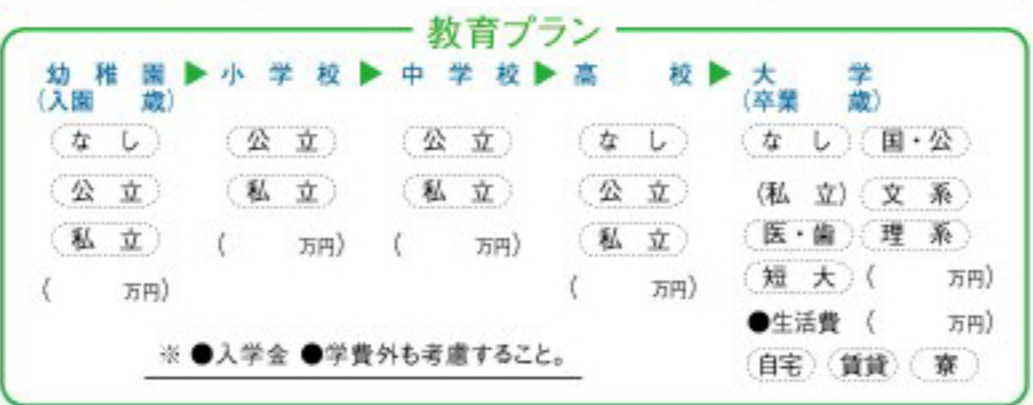
子供の個性を尊重し、才能を伸ばしてあげたい思いは親心です。教育資金は、学校の授業以外にも塾や習い事などのお金も合わせると、相当な額になります。対策としては大きく3つあります。

- ① 早い時期からの積立…「積立預金・学資保険・一般財形貯蓄」など安全確実な商品を早い時期から始める。
- ② 奨学金の活用…積立などで不足する場合は奨学金を検討し、学生本人が借りて卒業後に返済する。本人の学力と世帯年収による審査が行われる。無利息と有利息(在学中は無利息)の奨学金がある。
- ③ 教育ローンの活用…国や銀行の教育ローンを活用する。奨学金と違い親の名義で返済をするケースが多い。

教育費の負担が大きくなるころは、住宅ローン返済や親の介護などが重なって家計を圧迫する場合があります。進学直前になって慌てないようライフプランを早期に行い、教育資金を1日でも早く準備することが重要です。

コツコツ積立の例(金利は考慮しない)

毎月の積立金額	積立期間		
	12年目(中学時)	15年目(高校時)	18年目(大学時)
1万円	144万円	180万円	216万円
3万円	432万円	540万円	648万円
5万円	720万円	900万円	1080万円



2005年4月現在の税制(税引率を考慮していません)。税制・税引率は将来変更される可能性があります。
 協力募集代理店(株)ファミリーライフクラブモチ 大森 健一さん
 独立系FP事務所(株)ファミリーライフクラブモチ所属。AFP・住宅ローンアドバイザーの資格を活用し、セミナー講師・個別相談等を実施。
 募集代理店(株)ファミリーライフクラブモチ 土浦市永国0977-01020・123005

